

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 互惠会

特別養護老人ホーム サライ
デイサービスセンター サライ

概況

1. 法人役員の選任解任動向

- ① 理事 … 理事7名のうち1名が6月22日に任期満了で退任。計6名へ。
- ② 監事 … 今年度中の交代、変更はなし
- ③ 評議員 … 今年度中の交代、変更はなし

2. 稼働率（資料「稼働率」参照）

① 稼働率実績

	実績	目標	目標比	前期比	前期実績
入所	96.7%	96.5%	+0.2%	+0.8%	95.9%
短期入所	100.2%	99.0%	+1.2%	△2.7%	102.9%
計	97.4%	97.0%	+0.4%	+0.1%	97.3%
通所	41.2%	62.7%	△21.5%	△17.8%	59.0%

・ 入所

年間の目標稼働率を0.2%上回り、前期比においても+0.8%の稼働率を達成し、1年通して高い稼働率で推移することができた。入所中に医療機関へ入院した延人数は年間で804人。1日あたり平均2.20人が入院し空床となってしまう。入院者が入院していないと仮定した場合の年間稼働率は99.4%。入院以外で空床となっている延べ日数は年間で167日、前年度の497日から大幅に減少している。入所者が退所してから次の入所者が入所するまでの平均空床日数は7.26日で、空床期間は最長32日、最短0日で次の入所者が入所し、空床日数は大幅に減少した。退所が確定する前にあらかじめ次の入所者を選考するなどの施策を行った結果空床期間の減少に成功している。

・ 短期入所

年間の目標稼働率を1.2%超える稼働率を達成したが、前年度の年間稼働率よりも2.7%下回る稼働率となった。しかしながら、1年間のうち8ヶ月で目標稼働率を超える稼働率を達成し、新型コロナウイルス感染症の影響で特養空床部屋の利用が出来なかったにもかかわらず、年間を通して安定した高い稼働率で推移することができた。前年度から引き続き、比較的利用日数が長い利用者と定期利用する利用者とのスケジュール調整を適切に行い、空床ができないようなスケジュール管理ができたことにより成し遂げられたといえる。

・ 通所

年間の目標稼働率を大幅に下回り、前年度の稼働率よりも年間で17.8%低い稼働率となった。要支援者も含めた契約者数も年度初めの51人から年度末には32人と減少している。新型コロナウイルス感染症への対応で、4月から入浴回数の制限を行い、利用者の自主的な利用控えなどもあったため、若干の稼働率の低下は織り込み済みであったが、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受けることは想定しておらず、年間を通じての大幅な稼働率低下となってしまった。また、12月に特養職員で新型コロナウイルス感染者が発生した影響で1週間自主休業し、更に稼働率の低下を招いてしまった。しかしながら、今年度終盤から感染予防対策は徹底したうえで入浴回数の制限を解除し、新規利用者の受入れも積極的に行うことなどしており、3月には稼働率の下落に歯止めをかけている。通所介護の稼働率回復が事業所全体において喫緊の課題である。

3. 収益状況

① 資金収支

当期資金収支差額 $\Delta 13,309$ 千円（前年度比 $+1,201$ 千円）
事業活動収支差額 $19,076$ 千円（前年度比 $\Delta 6,879$ 千円）
施設整備等資金収支差額 $\Delta 38,316$ 千円（前年度比 $+0.8$ 千円）
その他の活動資金収支差額 $5,930$ 千円（前年度比 $+8,080$ 千円）

事業活動による収入は591,709千円で前期比 $\Delta 5,776$ 千円であるが、コロナ関連の補助金事業収入を除いた場合の実質的な事業活動による収入は585,986千円で前期比 $\Delta 11,298$ 千円となる。その場合の事業サービス別の前期比は、特養が $+6,709$ 千円、短期入所が $\Delta 623$ 千円、通所介護 $\Delta 17,141$ 千円となっており、前期と比較して収入が低下した要因は通所介護の稼働率の低下の影響が大きい。事業活動支出は572,632千円で前期比 $+1,304$ 千円。前期比における科目別の内訳は、人件費支出が $+6,790$ 千円、事業費支出が $+1,380$ 千円、事務費支出が $\Delta 6,663$ 千円となっている。人件費支出の増額は、特定処遇改善手当が前期の後半から創設されたため、前期においては半年分の計上であったが、今期においては1年分の計上となり、5,488千円の増額となった。また、コロナ感染手当2,212千円の支出も増額となった要因である。事務費支出が減額となった要因においては、修繕費支出が前期比 $\Delta 4,804$ 千円となったことが大きい。施設整備等による収支は支出のみの計上で、福祉医療機構と社会福祉協議会からの設備資金借入金の返済支出と、リース債務の返済支出となっている。その他の活動による収支は、収入が運転資金の実質的な借入額である61,978千円と支出がその実質的な返済額である55,886千円で収支差額は $+5,930$ となっている。このことから今期の資金収支は、事業活動の収入で得た資金で、事業活動の支出の全額を賄うことができるが、設備資金及び運転資金の借入金の返済金全てまでを賄うことまではできず、運転資金の新たな借入と、前期から繰越されている資金で補っている。

② 事業活動収支

サービス活動収益（売上高） $589,826$ 千円（前年度比 $\Delta 5,610$ 千円）
サービス活動増減差額（営業利益） $4,518$ 千円（前年度比 $\Delta 3,142$ 千円）
経常増減差額（経常利益） $\Delta 7,931$ 千円（前年度比 $\Delta 3,021$ 千円）
当期活動増減差額（当期純利益） $\Delta 7,910$ 千円（前年度比 $\Delta 3,000$ 千円）

サービス活動収益の中には、資金収支計算書と同様でコロナ関連の補助金事業収益が含まれている。その補助金事業収益を除いた場合のサービス活動収益は584,103千円で、前期比は $\Delta 11,091$ 千円となる。大幅な前期比マイナスの要因は、通所介護の稼働率低下による収益減で、通所介護の収益の前期比 $\Delta 16,448$ 千円が大きな要因となっている。サービス活動費用は585,308千円で前期比は $\Delta 2,467$ 千円。科目別での前期比は、人件費 $+3,357$ 千円、事業費 $1,380$ 千円、事務費 $\Delta 6,663$ 千円となる。人件費の前期比増額要因としては、資金収支計算書と同様で、特定処遇改善手当が5,488千円増額計上されたこととコロナ感染手当2,212千円支給による増額計上あげられ、前期の人件費においては、退職金支給12,092千円が計上されていることも考慮すると、通常計上した人件費は前期よりも増額していることとなる。事務費が前期比でマイナスとなっている要因としては、修繕費が前期比4,804千円減額となったことが大きな要因となっているが、前期の修繕費は計画的なエレベータ及びエアコンの保守を行ったことによる経費計上分も含まれており、逆に、今期の修繕費の多くは突発的な設備関連の故障修理によるものだけで3,736千円計上されているため、一概に今期の修繕費が前期と比較して減額となったとは言い難い。当期活動増減差額は $\Delta 7,910$ 千円で2期連続のマイナスとなっているが、通所介護の稼働率を前年度の水準までに回復させれば、利益が生じる内容であるため、通所介護の稼働率を前年度の水準まで回復させることが急務である。

③ 借入金

金融機関からの借入金期末残高	215,869千円	(前年度末比 +7,520千円)
設備資金の借入金期末残高	444,434千円	(前年度末比 △36,149千円)
役員など個人からの借入金期末残高	1,432千円	(前年度末比 △1,428千円)
当座貸越借入金期末残高	25,000千円	(前年度末比 +15,000千円)

金融機関から新規で借入をした長期借入金は、静岡銀行の30,840千円（借入額60,000千円、借換返済額29,160千円）、商工中金の31,138千円（借入額70,000千円、借換返済額38,862千円）で計61,978千円。金融機関から借入した運転資金の今期の年間返済額は54,458千円のため、今期末時点での運転資金の借入金残高は7,520千円増えている。商工中金からの借入金は3年間返済が生じない融資形態のため、資金繰りには好影響であるが、借入残高の減少という側面では、借入金返済のスピードが鈍ってしまい、今期の期末残高が増えた要因にもなっている。設備資金の借入金に関しては、返済は着実に行われており、今期も計画通り36,149千円の返済が行われた。また、役員からの長期借入金に関しても、計画通り1,428千円の返済が行われ、着実に借入残高が減ってきている。静岡銀行の当座貸越に関しては、70,000千円の枠内で期中において借入と返済を繰り返し行い有効に活用しているが、今期末時点においては25,000千円の残高が残っている。

4. 今年度の総括、取組み

① 職員の状況

- ・今年度 離職者は4名。 入職者は3名。 介護職員の離職者は0人。
→ 特養介護職の常勤率90.9%、介護福祉士率83.6%
- ・夜勤不可の職員が増加。職員の高齢化が課題

③ 職場環境の改善 = 働きやすい職場づくり 継続中

- ・スキルアップシートによる職員個人の目標設定と目標の明確化
- ・定期昇給の継続実施、特定処遇改善加算の新規取得 → 職員定着率の向上へ
- ・賞与支給率の確保 前年度 3.9ヶ月 → 今年度 も同率
- ・定時退勤の奨励と有給休暇完全取得への働きかけ

④ 感染症対策

- ・感染委員会による感染症予防施策の徹底と職員個人の感染予防に対する意識の向上
→ 施設内での感染症大規模発生なし
- ・新型コロナウイルス感染症への対応
→ 12月に施設職員1名が感染。濃厚接触者該当職員1名。
→ 2月から3月の神奈川県でのPCR検査事業に参加
- ・新型コロナウイルス感染症以外の感染症の発生は無し。
- ・現在行っている新型コロナウイルス感染症対策の継続可否が課題

⑤ 相談・支援部門の強化と業務の効率化

- ・介護支援専門員2名体制の継続。
- ・生活相談員も前年度から2名体制へ。今年度も継続。
→ 相談・支援部門の充実化を図り、安定した運営を行う
→ 人員増による業務効率化、ロスの削減

⑥ 部署間、職種間の垣根を超えた協力体制の構築 継続中

- ・介護職と看護職の連携強化
- ・介護職員不足時における他部署からの協力体制

⑦ 地域貢献の推進及び社会的弱者への貢献活動

- ・地域貢献 新型コロナウイルス感染症により今期は外部との接触機会激減。
- ・就労支援事業の受託
相模台クリニック（アンダンテ） 精神障害者の就労支援への協力 継続
- ・障害者雇用 障害者雇用の継続（前年度からの1名継続就労中）
- ・実習生の受入 新型コロナウイルス感染症により受入見合わせ
- ・高齢者の就労機会の創出 定年退職となった職員を嘱託職員として継続雇用
（今年度1名追加で6名在籍）
- ・施設内敷地の有効活用 太陽光発電を本棟屋上に提供 平成26年度より継続（町田ガス）

1. 稼働率

【入所】

令和2年度

年月	目標			実績					目標比			達成率
	計	入所	短期入所	計		入所		短期入所	計	入所	短期入所	
	100名	80名	20名	(含入院)		(含入院)						
R2年4月	97.0%	96.5%	99.0%	99.2%	97.3%	99.1%	96.8%	99.5%	+0.3%	+0.3%	+0.5%	100.3%
5月	97.0%	96.5%	99.0%	98.4%	96.5%	97.4%	95.0%	102.4%	-0.5%	-1.5%	+3.4%	99.4%
6月	97.0%	96.5%	99.0%	99.2%	97.7%	97.4%	95.5%	106.7%	+0.7%	-1.0%	+7.7%	100.7%
7月	97.0%	96.5%	99.0%	99.8%	98.4%	99.7%	97.9%	100.2%	+1.4%	+1.4%	+1.2%	101.4%
8月	97.0%	96.5%	99.0%	99.4%	96.8%	99.8%	96.6%	97.9%	-0.2%	+0.1%	-1.1%	99.8%
9月	97.0%	96.5%	99.0%	99.9%	99.6%	100.0%	99.7%	99.5%	+2.6%	+3.2%	+0.5%	102.7%
10月	97.0%	96.5%	99.0%	99.8%	97.5%	100.0%	97.0%	99.4%	+0.5%	+0.5%	+0.4%	100.5%
11月	97.0%	96.5%	99.0%	100.0%	96.0%	100.0%	94.9%	100.2%	-1.0%	-1.6%	+1.2%	98.9%
12月	97.0%	96.5%	99.0%	99.7%	96.0%	100.0%	95.4%	98.4%	-1.0%	-1.1%	-0.6%	98.9%
R3年1月	97.0%	96.5%	99.0%	99.6%	96.9%	99.9%	96.6%	98.2%	-0.1%	+0.1%	-0.8%	99.9%
2月	97.0%	96.5%	99.0%	100.3%	99.1%	100.0%	98.6%	101.3%	+2.1%	+2.1%	+2.3%	102.2%
3月	97.0%	96.5%	99.0%	99.6%	96.9%	99.9%	96.5%	98.5%	-0.1%	-0.0%	-0.5%	99.9%
年合計												
年平均	97.0%	96.5%	99.0%	99.6%	97.4%	99.4%	96.7%	100.2%	+0.4%	+0.2%	+1.2%	100.4%

【通所】

令和2年度

年月	目標				実績					目標比			達成率(%)	
	30名定員稼働率(%)	計	通所介護利用者数	介護予防契約者数	30名定員稼働率(%)	計	通所介護利用者数	介護予防契約者数	通所介護契約者数	計	通所介護利用者数	介護予防契約者数		
R2年4月	60.1%	469人	465人	4人	48.5%	378人	376人	2人	49人	-91人	-89人	-2人	80.6%	26日
5月	60.7%	474人	470人	4人	48.5%	378人	376人	2人	44人	-96人	-94人	-2人	79.7%	26日
6月	61.4%	479人	475人	4人	48.8%	381人	378人	3人	41人	-98人	-97人	-1人	79.5%	26日
7月	62.0%	503人	499人	4人	46.7%	378人	375人	3人	41人	-125人	-124人	-1人	75.1%	27日
8月	62.6%	489人	485人	4人	44.6%	348人	345人	3人	38人	-141人	-140人	-1人	71.2%	26日
9月	63.2%	493人	489人	4人	44.1%	344人	341人	3人	39人	-149人	-148人	-1人	69.8%	26日
10月	63.2%	512人	508人	4人	44.3%	359人	355人	4人	38人	-153人	-153人	±0人	70.1%	27日
11月	63.4%	476人	472人	4人	41.6%	312人	309人	3人	37人	-164人	-163人	-1人	65.5%	25日
12月	63.5%	476人	472人	4人	31.2%	234人	232人	2人	37人	-242人	-240人	-2人	49.2%	25日
R3年1月	63.8%	459人	455人	4人	30.8%	222人	220人	2人	29人	-237人	-235人	-2人	48.4%	24日
2月	64.0%	461人	457人	4人	30.7%	221人	220人	1人	31人	-240人	-237人	-3人	47.9%	24日
3月	64.0%	519人	515人	4人	33.0%	267人	266人	1人	31人	-252人	-249人	-3人	51.4%	27日
年合計	62.7%	5810人	5762人	48人	41.2%	3822人	3793人	29人	455人	-1,988人	-1,969人	-19人	65.8%	309日
年平均	62.7%	485人	481人	4人	41.1%	319人	316人	2人	38人	-166人	-164人	-2人	65.7%	

目標年平均稼働率= 62.7%

2. 特別養護老人ホームサライの状況

① 入退所者の状況

入所

No.	氏名	性別	年齢	入所年月日	介護度	保険者
1	M 様	女性	88歳	R2. 4. 8	要介護4	千葉県千葉市
2	O 様	男性	97歳	R2. 4. 22	要介護3	座間市
3	I 様	女性	96歳	R2. 4. 27	要介護5	座間市
4	N 様	女性	89歳	R2. 5. 18	要介護5	大和市
5	T 様	男性	90歳	R2. 5. 25	要介護5	座間市
6	N 様	男性	88歳	R2. 6. 1	要介護5	座間市
7	U 様	女性	92歳	R2. 6. 3	要介護3	相模原市
8	F 様	女性	93歳	R2. 6. 3	要介護4	座間市
9	K 様	女性	75歳	R2. 6. 24	要介護4	座間市
10	M 様	男性	89歳	R2. 7. 3	要介護4	座間市
11	M 様	女性	75歳	R2. 7. 6	要介護4	座間市
12	S 様	女性	92歳	R2. 8. 1	要介護3	座間市
13	H 様	女性	89歳	R2. 8. 19	要介護4	大和市
14	N 様	女性	85歳	R2. 8. 22	要介護4	相模原市
15	S 様	女性	100歳	R2. 10. 29	要介護3	座間市
16	N 様	女性	89歳	R2. 11. 23	要介護4	座間市
17	O 様	男性	83歳	R2. 12. 8	要介護4	座間市
18	T 様	男性	90歳	R2. 12. 21	要介護4	東京都立川市
19	S 様	女性	88歳	R3. 1. 6	要介護5	座間市
20	I 様	男性	95歳	R3. 1. 19	要介護3	座間市
21	T 様	女性	88歳	R3. 2. 15	要介護5	座間市
22	A 様	女性	89歳	R3. 3. 26	要介護4	座間市
23	I 様	女性	83歳	R2. 3. 31	要介護3	座間市

入所者数 23名 (男性7名 女性16名 平均年齢 88.82歳 平均要介護度 4.00 座間市比率 73.9%)

(元年度22名 30年度20名 29年度22名 28年度16名 27年度23名 26年度44名 25年度15名)

退所

No.	氏名	性別	年齢	入所年月日	退所年月日	在所日数	退所理由
1	M 様	女性	93歳	H30. 10. 22	R2. 4. 4	531日	入院先にて死亡のため
2	H 様	女性	87歳	H20. 6. 12	R2. 4. 8	4, 319日	入院先にて死亡のため
3	S 様	女性	94歳	R1. 10. 16	R2. 4. 20	188日	入院のため
4	S 様	女性	99歳	H29. 6. 7	R2. 5. 9	1, 068日	入院先にて死亡のため
5	T 様	女性	88歳	H28. 7. 1	R2. 5. 16	1, 416日	入院先にて死亡のため
6	K 様	女性	96歳	H20. 5. 7	R2. 5. 18	4, 395日	入院のため
7	W 様	女性	90歳	H27. 2. 9	R2. 5. 18	1, 926日	入院のため
8	M 様	男性	92歳	R2. 3. 31	R2. 5. 18	49日	入院のため
9	T 様	女性	85歳	R1. 9. 18	R2. 5. 22	248日	死亡のため
10	M 様	女性	83歳	H28. 7. 13	R2. 6. 5	1, 424日	入院のため
11	N 様	女性	99歳	H28. 8. 1	R2. 6. 19	1, 419日	入院のため
12	Y 様	女性	102歳	H31. 1. 22	R2. 7. 30	556日	入院先にて死亡のため
13	N 様	女性	79歳	H27. 4. 28	R2. 8. 16	1, 938日	入院のため
14	O 様	男性	87歳	R1. 11. 20	R2. 8. 18	273日	入院先にて死亡のため
15	Y 様	女性	96歳	H26. 12. 5	R2. 10. 27	2, 154日	入院先にて死亡のため
16	K 様	男性	98歳	H28. 10. 26	R2. 11. 22	1, 489日	入院のため
17	N 様	男性	75歳	H30. 3. 12	R2. 12. 7	1, 002日	他施設入所のため
18	I 様	女性	96歳	R2. 4. 27	R2. 12. 20	238日	入院のため
19	F 様	女性	97歳	H30. 3. 12	R3. 1. 3	1, 029日	入院先にて死亡のため
20	O 様	女性	96歳	H29. 9. 6	R3. 1. 18	1, 231日	入院のため
21	Y 様	女性	90歳	H29. 4. 5	R3. 2. 14	1, 412日	入院のため
22	H 様	女性	95歳	H30. 11. 28	R3. 3. 25	849日	入院のため
23	T 様	女性	94歳	H26. 8. 5	R3. 3. 28	2, 428日	入院先にて死亡のため

退所者数 23名 (男性 4名 女性 19名 平均年齢 91.78歳 平均在所日数 1,373.13日)

(元年度20名 30年度22名 29年度19名 28年度18名 27年度18名 26年度17名 25年度18名)

② 要介護度別状況

入所 (令和2年度 年間入所者実数)

特養 入所者実数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	1人	4人	7人	6人	18人	4.00
女性	2人	4人	21人	30人	28人	85人	3.92
計	2人	5人	25人	37人	34人	103人	3.93

(平均要介護度:元年度3.99 30年度3.96 29年度3.93 28年度3.87 27年度3.86 26年度4.00 25年度4.26 24年度4.08)

要介護度4・5比率 = 68.9%

(元年度71.0% 30年度66.7% 29年度68.8% 28年度64.9% 27年度62.0% 26年度69.3% 25年度83.0% 24年度60.8%)

入所 (令和2年度 年間入所者延数)

特養 入所者延数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	207人	795人	1,676人	1,893人	4,571人	4.15
女性	730人	1,460人	6,395人	7,824人	7,249人	23,658人	3.82
計	730人	1,667人	7,190人	9,500人	9,142人	28,229人	3.87

要介護度4・5比率 = 63.7% (元年度65.7%)

(平均要介護度:元年度3.90)

短期入所 (令和2年度 年間利用者実数)

短期入所 利用者実数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	0人	1人	5人	5人	4人	4人	19人	3.26
女性	0人	0人	4人	8人	15人	28人	12人	67人	3.54
計	0人	0人	5人	13人	20人	32人	16人	86人	3.48

要介護度4・5比率 = 55.8% (元年度43.7%)

(平均要介護度:元年度3.26)

短期入所 (令和2年度 年間利用者延数)

短期入所 利用者延数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 要介護度
男性	0人	0人	18人	95人	367人	374人	345人	1,199人	3.78
女性	0人	0人	84人	358人	2,472人	2,248人	950人	6,112人	3.59
計	0人	0人	102人	453人	2,839人	2,622人	1,295人	7,311人	3.62

要介護度4・5比率 = 53.6% (元年度35.2%)

(平均要介護度:元年度3.30)

通所 (令和2年度 年間利用者実数)

通所利用者実数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均要介護度
男性	5人	6人	6人	1人	4人	22人	2.68
女性	4人	12人	9人	11人	3人	39人	2.92
計	9人	18人	15人	12人	7人	61人	2.84

要介護度4・5比率 = 31.1% (元年度21.6%) (平均要介護度:元年度2.46)

通所 (令和2年度 年間利用者延数)

通所利用者延数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均要介護度
男性	277人	550人	265人	7人	198人	1,297人	2.46
女性	212人	1,254人	451人	376人	203人	2,496人	2.64
計	489人	1,804人	716人	383人	401人	3,793人	2.58

要介護度4・5比率 = 20.7% (元年度14.8%) (平均要介護度:元年度2.42)

第一号通所事業 (令和2年度 年間利用者実数)

第一号通所事業利用者実数	要支援1	要支援2	計	平均要支援度
男性	0人	0人	0人	—
女性	0人	4人	4人	2.00
計	0人	4人	4人	2.00

(平均要支援度:元年度1.80)

第一号通所事業 令和2年度 年間利用者延数)

第一号通所事業利用者延数	要支援1	要支援2	計	平均要支援度
男性	0人	0人	0人	—
女性	0人	161人	161人	2.00
計	0人	161人	161人	2.00

(平均要支援度:元年度1.92)

③ 保険者別人員状況

入所 (令和2年度 年間入所者実数)

特養 入所者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	16人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	18人
女性	68人	2人	7人	2人	0人	1人	5人	85人
計	84人	2人	7人	2人	0人	1人	7人	103人

座間市比率 = 81.6%

(元年度79.0% 30年度78.2% 29年度76.3% 28年度76.6% 27年度70.9% 26年度64.0% 25年度59.6% 24年度72.5%)

入所 (令和2年度 年間入所者延数)

特養 入所者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	横浜市	県外	計
男性	4,470人	0人	0人	0人	0人	0人	101人	4,571人
女性	18,710人	365人	2,022人	694人	0人	365人	1,502人	23,658人
計	23,180人	365人	2,022人	694人	0人	365人	1,603人	28,229人

座間市比率 = 82.1% (令和元年度 83.7%)

短期入所 (令和2年度 年間利用者実数)

短期入所 利用者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	17人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	19人
女性	52人	1人	8人	4人	0人	0人	2人	67人
計	69人	1人	9人	4人	0人	0人	3人	86人

座間市比率 = 80.2% (令和元年度 85.4%)

短期入所 (令和2年度 年間利用者延数)

短期入所 利用者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	930人	0人	5人	171人	0人	0人	93人	1,199人
女性	4,818人	31人	718人	226人	0人	0人	319人	6,112人
計	5,748人	31人	723人	397人	0人	0人	412人	7,311人

座間市比率 = 78.6% (令和元年度 81.7%)

通所、第一号通所事業 (令和2年度 年間利用者実数)

利用者実数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	20人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	22人
女性	37人	0人	1人	2人	1人	1人	1人	43人
計	57人	0人	2人	2人	2人	1人	1人	65人

座間市比率 = 87.7% (令和元年度 83.5%)

通所、第一号通所事業 (令和2年度 年間利用者延数)

利用者延数	座間市	海老名市	大和市	相模原市	綾瀬市	その他県内	県外	計
男性	1,144人	0人	90人	0人	63人	0人	0人	1,297人
女性	2,456人	0人	17人	51人	58人	28人	47人	2,657人
計	3,600人	0人	107人	51人	121人	28人	47人	3,954人

座間市比率 = 91.0% (令和元年度 85.9%)

④ 居住費・食費 利用者負担区分状況（令和2年度年間）

(実人数)	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	計	第4段階 比率	令和元年度
入 所	0人	15人	46人	42人	103人	40.8%	37.0%
短期入所	1人	12人	23人	50人	86人	58.1%	61.2%
計	1人	27人	69人	92人	189人	48.7%	49.3%

(延人数)	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	計	第4段階 比率	令和元年度
入 所	0人	4,736人	12,485人	11,008人	28,229人	39.0%	37.5%
短期入所	119人	1,310人	2,219人	3,663人	7,311人	50.1%	50.4%
計	119人	6,046人	14,704人	14,671人	35,540人	41.3%	40.2%

3. 職員の状況

①部門別人員（令和3年3月31日現在）

	常勤	非常勤	嘱託	計	休職(欠勤)	短時間勤務	非常勤 (常勤換算)	(常勤換算) 計	前期末比	男	女
介護部門	50	3	2	55		-0.4	2.20	53.80	+0.30	20	35
看護部門	4	1	2	7			0.40	6.40	±0.00	1	6
相談支援部門	4	0	0	4				4.00	±0.00	2	2
事務部門	2	2	2	6		-0.4	0.77	4.37	+0.12	2	4
特養 計	60	6	6	72	0.0	-0.8	3.37	68.57	+0.42	25	47
デイサービス部門	6	0	0	6				6.00	-0.50	3	3
職員 計	66	6	6	78	0.0	-0.8	3.37	74.57	-0.08	28	50
施設長	1			1				1.00	±0.00	1	0
計	67	6	6	79	0.0	-0.8	3.37	75.57	-0.08	29	50

②資格別人員（令和3年3月31日現在）

<介護部門>

	常勤	非常勤	嘱託	計	休職(欠勤)	短時間勤務	(常勤換算)	(常勤換算) 計	前年比
介護福祉士	45	0	1	46		-0.2		45.8	-0.2
介護福祉士実務者研修修了者	3	0	0	3				3.0	+3.0
介護職員初任者研修修了者	1	0	1	2		-0.2		1.8	+1.0
介護支援専門員	2	0	0	2				2.0	+1.0
社会福祉主事任用資格	1	0	0	1				1.0	+1.0
計	52	0	2	54	0	-0.4	0.0	53.6	+1.8
資格なし	1	3	0	4			2.2	3.2	+0.5
合計	53	3	2	58	0	-0.4	2.2	56.8	+1.3

介護福祉士率 79.3% (H30年度74.4%、H29年度65.8%、H28年度67.3%、H27年度66.1%、H26年度62.2%)

常勤率 93.1% (H30年度98.0%、H29年度94.5%、H28年度96.2%、H27年度90.9%、H26年度91.1%)

<介護部門以外>

	常勤	非常勤	嘱託	計	休職(欠勤)	短時間勤務	(常勤換算)	(常勤換算) 計	前年比
介護支援専門員	4	1	0	5			0.4	4.4	-1.0
介護福祉士	9	0	0	9				9.0	-1.0
社会福祉士	1	0	0	1				1.0	-1.0
社会福祉主事任用資格	3	0	0	3				3.0	+1.0
施設長資格認定	1	0	0	1				1.0	±0.0
看護師	5	1	1	7			0.4	6.4	±0.0
准看護師	0	0	1	1				1.0	±0.0
管理栄養士	1	0	0	1				1.0	±0.0

③入退職状況（令和2年度 年間）

	入職者				退職者				増減
	常勤	非常勤	嘱託	計	常勤	非常勤	嘱託	計	
介護部門	1	1	0	2	0	0	0	0	+2
看護部門	1	0	0	1	2	0	0	2	-1
相談支援部門	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
事務部門	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
特養 計	2	1	0	3	2	0	0	2	+1
デイサービス部門	0	0	0	0	1	1	0	2	-2
職員 計	2	1	0	3	3	1	0	4	-1